



男性用トイレ 洗面



男性用トイレ 大便器ブース

藍染公園 / 改修

藍染が盛んな地域で藍染川と呼ばれる川が流れていたことを名前の由来にもつ荒川区の公園

キャッチボール場や小さな子どもも安心して遊べる遊具を備えた公園。震災時の一時集合場所として防災設備を整備し、トイレも災害に配慮した仕様にリニューアル。災害時1Lの洗浄水量で洗浄可能なレジリエンストイレを設置し、使い慣れたトイレを普段と同じように使用できるようになっている。

DATA

施主：荒川区
所在地：東京都荒川区町屋1-34-9
竣工：2018年3月

商品情報

- <一般トイレ>
- レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
- 小便器 : U-A51AP
- 洗面器 : L-A951AC
- L形手すり : KF-920AE70D12
- 小便器用手すり : KF-701AE
- <多機能トイレ>
- 多機能トイレパック : PTWC-EC103R1A3BNNW
- ベビーキープ : KFA-12
- おむつ交換台 : AC-OK-21F
- 掃除用水栓 : LF-15G-13-CV



外観全景



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

園内



避難場所表示板



(上) 防災井戸
(下) マンホールトイレ

施設管理者様の声

東京都の城北に位置する荒川区は、都電が通り下町の風情を残す街である。しかし、下町特有の密集住宅地も多くあり防災の面で力を入れているところである。平成29年にLIXILの協力のもと、防災トイレの試験設置を2年間実施することになった。設置場所はリニューアルを終えた「藍染公園」。面積2,475㎡、児童コーナーやボール遊びができるコーナーを持ち、連日大勢の子供たちで賑わっている公園である。また、防災機能として、マンホールトイレ、防災井戸、ソーラー照明などを備えている。

試験運用では、震災時の利用を想定し、洗浄水は震災モードの1L。また、配管洗浄水は循環水という、公衆トイレでは少々過酷とも思える条件で開始した。試験運用期間中においては、不具合の発生、故障もなく順調に稼働することができた。また、便器の形状や操作性についても問題がなかったものと判断している。

過去の災害においてもトイレの問題は多く指摘されており、区としても課題のひとつとして認識しておるところではあるが、このトイレがいざという時の区民の支えになればと願っている。

荒川区道路公園課 / 澤田係長

女性用トイレ



手荷物に配慮しフックを洗面器横に設置。全て大便器ブースに手すりを備え、誰もが安心して利用できる環境を整備。大便器は洗浄水量を5Lから1Lに切り替えられるレジリエンストイレを設置し、災害時いつものトイレをそのまま使用することができる。

2年間試験運用を行うため、人手をかけずに済むよう、汚水循環方式を採用。

男性用トイレ



天井近くの窓から自然光を取り込んだ明るい空間。小便器に備えた手すりは、2本に力を分散させて体を優しく支え、腰周辺をサポートすることができる。

多機能トイレ



車椅子ユーザーに配慮した機器の他、ベビーキープやおむつ交換台など幼児連れに配慮した設備を備え、様々な方が安心して利用できるようになっている。